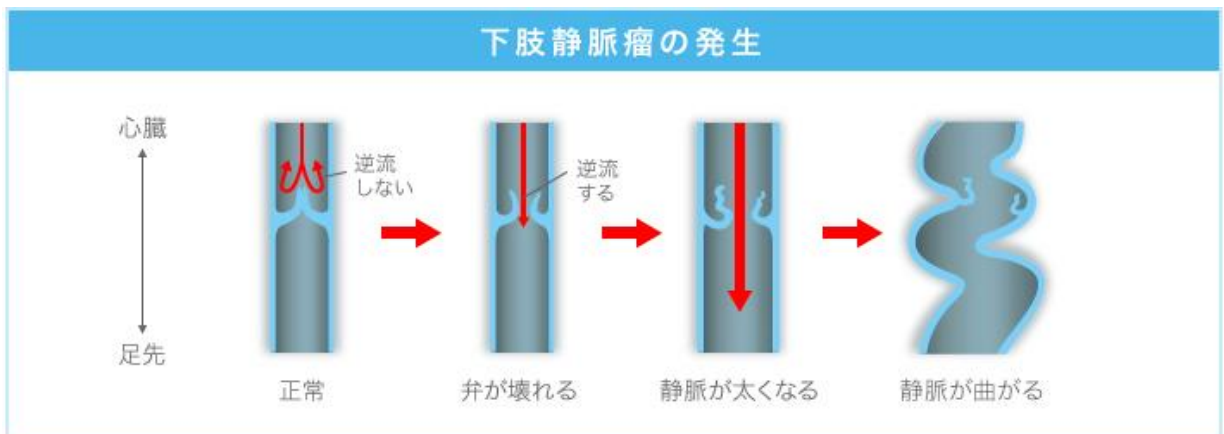


## 2021年11月より下肢静脈瘤の治療を開始しました

順心病院 循環器科

下肢静脈瘤の原因は、表在静脈（大伏在静脈・小伏在静脈）の弁が壊れることが原因です。静脈弁が壊れると、血液が逆流してその下にある静脈に血液がたまってしまいます。



足の血管がこぶのように膨らみ曲がりくねっている、足がむくむ、重だるい、皮膚が茶色く色づいてきた…

下肢静脈瘤は、わりと多くみられる病気ですが基本的には命にかかわる病気ではないので、多くの患者さまが未治療のまま何年も過ごしてしまっているケースが見受けられます。

よく見られる症状

- 足がむくむ、重だるい
- 足がつることが多い
- 足がほてる・熱く感じる
- 足のむずむず感・不快感
- かゆくてつい掻きむしってしまう
- 皮膚が黒ずんできた

病気の特徴

- 飲み薬、塗り薬、貼り薬など効く薬はありません。
- 自然には治りません。
- 放っておいても命にかかわることはありません。

## 治療が必要なのは、どのような場合？

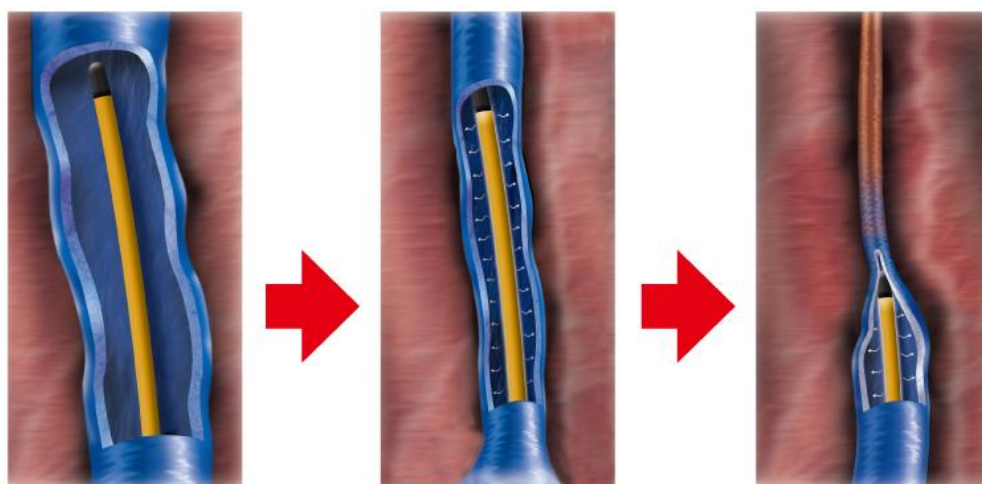
治療が必要な場合は、うっ滞性皮膚炎がおこっている場合か、静脈瘤による症状があつてつらい場合、あるいはご本人が外見を気にする場合の3つです。

下肢静脈瘤の症状で困っておられる患者さんの QOL を改善したいとの思いで、2021 年 11 月より血管内焼灼術（ラジオによる高周波治療）を開始しました。

静脈瘤の症状（だるさ、むくみ、かゆみ、痛み、皮膚炎）でお困りの患者さんがおられましたら、ご紹介をお願いいたします。



治療用装置



静脈瘤までカテーテルを挿入します。

カテーテル先端で熱エネルギーを放出して静脈壁を収縮させます。

カテーテルを抜去。静脈壁を閉塞させて治療は終了です。